

2017年度コミュニティカフェ開設講座（東京）

地域の人が集まって、高齢者、障害者や子育ての支援、まちづくりなどに取り組む場、「コミュニティカフェ」。最近では、コミュニティビジネスの一つとして、若年層のサードプレイスとして、また地域での高齢者や子どもの見守り・支え合いの拠点などとしても注目されています。



長寿社会文化協会（WAC）では、運営者3人、税理士1人による連続講座を開きます。今年はケアラズカフェや認知症カフェ、子ども食堂も含むコミュニティカフェを開きたい人・団体を対象とし、誰もが参加できる「多世代型のカフェ」を目指す人を歓迎します。毎年、一定数の受講生がカフェ開設につながっています。

➤定員：20人 ➤受講料：一般15,000円、WAC会員12,000円（全5回出席の割引料金、資料代込み）

※ほかに飲食代と交通費実費がかかります。グループ内での交代参加や単回参加も可。

➤詳細ページ・申込方法：<http://blog.canpan.info/com-cafe/archive/780>

➤問い合わせ先：WAC（担当：小山） TEL：03-5405-1501 E-mail：com-cafe@wac.or.jp

2017年度コミュニティカフェ開設講座（東京）のカリキュラム

回	日程・会場	講師・内容
1	2018年 1月27日（土） 9:45～14:15（昼休み1時間） メサ・グランデ（川崎市中原区 新城5-2-13 プリマSK武蔵新 城1階）	田代美香さん （NPO法人ぐらす・かわさき 副理事長・事務局長） ●現場見学・ランチ体験 ●参加者の現状と取り組み内容、参加動機と目的 ●講義：なぜ、コミュニティカフェが求められているか？ ぐらす・かわさきとたまり場事業、「たちばな農のあるまちづくり」推進事業とメサ・グランデ、飲食店経営の基礎 ●ワークショップ：やりたいコミュニティカフェと顧客ターゲット ※講座終了後、川崎市内のカフェ見学（希望者のみ）
2	2月3日（土） 10:00～16:00（昼休み1時間） 元気スタンド・ぷりズム、幸手 団地集会所（埼玉県幸手市栄 3-9）	小泉圭司さん （元気スタンド・ぷりズム合同会社 代表） ●現場見学・ランチ体験 ●講義：コミュニティカフェってなんだろう？ 高齢者向け・子育て・コミュニティレストランなど事例紹介、生活支援・介護予防サービスとしてのコミュニティカフェ、コミュニティカフェだけでなく、総菜店などとのコミュニティモールとしての取り組み、創業から店舗運営まで—資金調達、資格、許認可、内装工事、必要経費などについて、事業計画の進め方 ●ワークショップ：地域の課題を上げてみよう。身の回りの地域課題、社会資源、ネットワークを調べよう。自分のやりたい活動内容発表
3	2月10日（土） 9:45～16:00（昼休み1時間） WAC研修室（東京都港区芝公 園2-6-8 日本女子会館1階）	堀内達文さん （税理士、堀内会計事務所 代表） ●講義：コミュニティカフェのマーケティング—宣伝広告と営業手法（メニュー開発、価格設定、仕入・原価管理、店舗レイアウト、市場調査等）、マネジメントとお金（必要な手続き、資金の調達から収支計算、税金の話） ●ワークショップ：事業計画書作成演習 ※講座終了後、交流会（希望者のみ）
4	2月17日（土） 12:30～15:30（昼食後、講義） Caféハートフル・ポート（横浜 市旭区南希望が丘58）	五味真紀さん （Caféハートフル・ポート 店主） ●現場見学・ランチ体験 ●講義：多世代交流型「住み開きカフェ」ハートフル・ポートの活動紹介、住宅街の「住み開き」カフェが果たす役割と運営する上で大切なポイント、地域食堂、認知症カフェなど色々なイベントを成功させる秘訣 ※講座終了後、横浜市内のカフェ見学（希望者のみ）
5	3月4日（日） 9:45～13:00 WAC研修室	小泉圭司さん、堀内龍文さん ●各自の事業計画の発表（個人、もしくはチームで） ●参加者全員で感想を伝えよう。

※このほか、課外に会場近くや先輩受講生が開設したカフェの見学なども予定。